





# 5年の復習

## 1

1 次の線の漢字の読みがなを書きましょう。

- ① 会社の組織
- ② うさぎの飼育係

- ③ 設備をそろえる
- ④ 余計な仕事

- ⑤ 薬が効く
- ⑥ 心の支え

- ⑦ 決まり文句
- ⑧ 店を構える

- ⑨ 利益を求める
- ⑩ 国民の義務

- ⑪ 武士の戦い
- ⑫ 祖母の思い出

- ⑬ 永遠の愛
- ⑭ 国境をこえる

- ⑮ 農園を営む
- ⑯ 方向を示す

2 次の読みがなを漢字で書きましょう。

- ① 


むちゅう になる
- ② 生活 すいじゆん が高い

- ③ 


こくさい 社会
- ④ 米国の だいとうりよう

- ⑤ 自転車の しゅうり
- ⑥ 


めんせつ を受ける

- ⑦ 


たんどく で行動する
- ⑧ 


けわ しい山道

- ⑨ 


ひょうばん がよい
- ⑩ 実行に うつ す

- ⑪ 梅の 


えた
- ⑫ 


ざつおん が混じる

- ⑬ 入場を 


きんし する
- ⑭ 


ます しい人々

- ⑮ 


ねんがじょう を書く
- ⑯ 平和 


じょうやく を結ぶ

学習日

月

日

③ 次の□にあてはまる漢字を、それぞれ書きましょう。

(1)		(2)	
□① 週休二日	□② 中国	□① 一学期の成	□② 重大な
□① せい	□② せい	□① せい	□② せい
の時計	の	任	集
(3)		(4)	
□① 主語と	□② 技	□① こん虫	□② 自然
□① じゅつ	□② じゅつ	□① さい	□② さい
の	の	害	の
の進歩	の	の	の

④ 次の線の言葉を、漢字と送りがなで書きましょう。

- ① いきおいがいい
- ② 岸によせる波
- ③ 新しい学校になれる
- ④ さそいをことわる
- ⑤ 温度をたもつ
- ⑥ チームをひきいる

⑤ 次の絵や印から、どんな漢字ができましたか。あとから選び、記号で答えましょう。

ア	山	イ	口	ウ	下	エ	田	オ	手
□①	□②	□③	□④	□⑤	□⑥	□⑦	□⑧	□⑨	□⑩

⑥ 次の漢字の特別な読み方をひらがなで書きましょう。

- ① セ夕
  - ② 眼鏡
  - ③ 二十日
  - ④ 八百屋
- ⑦ 次の線の敬語がていねい語ならア、尊敬語ならイ、けんじょう語ならウと書きましょう。

- ① 校長先生がいらっしゃいました。
- ② あちらが、受付でございます。
- ③ お手紙をいただきました。
- ④ 図書館の中をご案内いたします。
- ⑤ お客様は、さきほど帰られました。
- ⑥ ぼくは小学六年生です。



# 5年の復習

## 2

1 次の線の漢字の読みがなを書きましよう。

- ① 常識をわきまえる
- ② 用件を話す
- ③ 資料を集める
- ④ 役者の演技
- ⑤ 持久力がある
- ⑥ 河口に近づく
- ⑦ 空気中の酸素
- ⑧ 厚いかべ
- ⑨ 転居の知らせ
- ⑩ 不思議な現象
- ⑪ 税金の使い道
- ⑫ 犯人の似顔絵
- ⑬ 防災訓練の日
- ⑭ 墓参りをする
- ⑮ 無実の罪
- ⑯ 日本政府の代表

2 次の読みがなを漢字で書きましよう。

- ① 


せい けつ なタオル
- ② 


ぎやく の方向
- ③ 


ほう ふ な食材
- ④ 運動 のうりよく が高い
- ⑤ 体重の 


そく てい
- ⑥ 


ひ じょう 口から出る
- ⑦ 

--

あ み物が得意だ
- ⑧ 台風による 


そん がい
- ⑨ 木の 

--

みき
- ⑩ 量より 


しつ で選ぶ
- ⑪ 本を 

--

か す
- ⑫ 


じゅぎょう が始まる
- ⑬ 先生に 


ほう こく する
- ⑭ 


もう ふ をかける
- ⑮ 重要 


ぶん か さい
- ⑯ 安全を 


てん けん する

学習日

月

日

③ 次の□にあてはまる漢字を、それぞれ書きましょう。

(3)		(1)	
□②	□①	□②	□①
□き	□き	□おう	車の□ □おう
則を守る	本的な問題	急手当て	来
(4)		(2)	
□②	□①	□②	□①
□しよう	身分	合	正
待された客	□しよう	□かく	□かく
	明書	の通知	な計算

④ 次の線の言葉を、漢字と送りがなで書きましょう。

- ① こころよい風がふく
- ② 成功へみちびく
- ③ 木くずをもやす
- ④ 弟の世話をまかせる
- ⑤ 畑をたがやす
- ⑥ 外出をゆるす

⑤ 次の線の読み方をするもの一つを選び、記号で答えましょう。

□①	ジキ	ウ	ア	直線	イ	直進
□②	ミヨウ	ウ	ア	有名	イ	名前
□③	ビヨウ	ウ	ア	水平	イ	平等
□④	ト	ウ	ア	意図	イ	地面

⑥ 次の言葉を和語、漢語、外来語に分けて、記号で答えましょう。

□和語	□漢語	□外来語
ア ニュース	イ 祭り	ウ 親友
エ 自動車	オ 美しい	カ ミルク

⑦ 例にならって、次の二つの言葉を複合語にしたときの読み方を、ひらがなで書きましょう。

例 船 + 旅

ふなたび

- ① 雨 + 水
- ② 白 + 雪
- ③ 泣く + 顔
- ④ 聞く + 苦しい

# 1

## ものの考え方、伝え方 春の河／小景異情

### 練習しよう

次の [ ] にあてはまる言葉を、あとから選んで書きましよう。

① 今では手紙を書く機会が少なくなってきましたが、手紙にはよい点がいまいろいろあります。

初めに、表現をよく考えてから発信できるという点です。

[ ]、もらった人が何度も読み返せるという点です。

また、便せんや封筒ふうとうなどを選ぶ楽しさもあるという点です。

② 暑さをしのぐために新しく電化製品を買うなら、扇風機せんぷうきとエアコン、どちらがよいだろう。

単純じっぴんに、費用という点で [ ] と、扇風機のほう

がだんぜん安い。

③ 筆の種類を考えてみましょう。

使い道という点で [ ] と、書道用の筆、絵をかく

ための絵筆、お化粧けしょうしよう用の筆などがあります。

④ 人間には無害でも、犬にあってはいけない食べものがある。

[ ]、ネギ類である。犬がネギや玉ねぎを食べると

中毒しゅうど症状を起こし、命にかかわる場合さえある。

まず 次 例え 分ける 比べる

④ 次は意見発表のためのメモです。これを読んで、あとの問いに答えましよう。

◎ 確にんすることは大切だ！

- ・ 確にん不足は、失敗の原因になる。
- ・ 友達に本を返さなくてけんかになった。
- ・ 言葉の聞きちがいがあった。↓「八日」と「十日」
- ・ 確にんをめんどうがらなければ、けんかにならなかった。
- ・ どんなときでも、しっかり確にんすることが大切。

□ 次のようにメモの内容を整理します。マスの数にあてはまる言葉

全体として言いたいことは、

--	--	--	--	--	--

は大切だということです。その理由は、

--	--	--	--	--	--

は失敗の原因になるからです。例えば、

--	--	--	--	--	--

による失敗があります。具体的には、友達

--	--	--	--	--	--

に本を返す日の「八日」と「十日」を聞きちがえ、けんかになった

--	--	--	--	--	--

ことがあります。どんなときも、確にんを

--	--	--	--	--	--

③ 次の詩を読んで、あとの問いに答えましょう。

春の河

たつぷりと

春は

小さな川々まで

あふれてゐる

あふれてゐる

小景異情

あんずよ

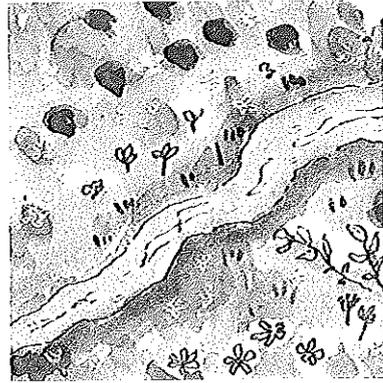
花着け

地ぞ早やに輝やけ

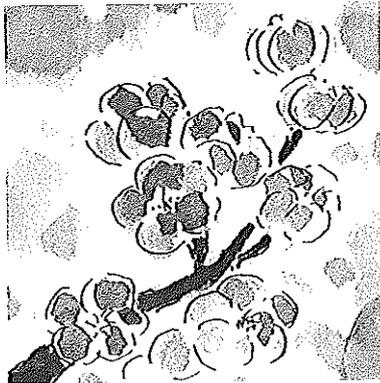
あんずよ花着け

あんずよ燃えよ

山村暮鳥



室生犀星



□(1) 「春の河」の作者が、一つの川だけでなく、あちこちの川に目を向けていることはどの行からわかりますか。詩の中から一行を書きぬいて答えましょう。

□(2) 「春の河」の詩から作者のどんな気持ちが読み取れますか。次から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 冬が終わってしまつて残念な気持ち。
- イ 川の水が少なくてつまらない気持ち。
- ウ 春をむかえたことを喜ぶ気持ち。
- エ 早く夏になってほしいと願う気持ち。

□(3) 「小景異情」の詩の季節はいつごろですか。次から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 寒さに向かう秋の終わり。
- イ まだ寒さが残る早春。
- ウ 暖かい春のまっさかり。
- エ 暑い夏をむかえたころ。

□(4) 線「あんずよ燃えよ」とありますが、あんずにどうしてほしいということですか。「花」という言葉を使って書きましょう。

●視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう

教科書 P.17 ~ P.33

2

# 帰り道(1)

## 漢字をおぼえよう

●新しい漢字——漢字の練習をしましょう。

背	純	洗	降	段	砂	視
背背背背背	純純純純純	洗洗洗洗洗	降降降降降	段段段段段	砂砂砂砂砂	視視視視視
背	純	洗	降	段	砂	視
⑨肉	⑩系	⑨水	⑩フ	⑨文	⑨石	⑩見
舌	射	異	認	並	腹	穴
舌舌舌舌舌	射射射射射	異異異異異	認認認認認	並並並並並	腹腹腹腹腹	穴穴穴穴穴
舌	射	異	認	並	腹	穴
⑥舌	⑩寸	⑪田	⑭言	⑧一	⑬肉	⑤穴

### 学習のポイント

- 登場人物の視点のちがいに注意して読む。
- 登場人物の心情や人物像を想像して読む。

乱	ラン	みだ・れる	みだす	混乱	⑦乙
乱乱乱乱					
乱					

●読み方が新しい漢字——読みがなを書きましょう。

①	夏休み	②	初夏	③	降る	④	以降
⑤	異物	⑥	異なる				

### 漢字の練習

次の線の漢字の読みがなを書きましょう。

- ① 視点のちがい
- ② 穴があく
- ③ 腹をすかせる
- ④ かたを並べる
- ⑤ 負けを認める
- ⑥ 単純すぎる
- ⑦ 西日の反射
- ⑧ 背中をおされる

学習日

月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_

# 文章の流れをつかもう

「帰り道」の内容を、文章の流れにそって次のようにまとめました。  
 ①～⑥にあてはまる言葉を、あとから一つずつ選んで書きましよう。

- 1 「ほく」|| 律  
 2 「ほく」|| 周也

今日は、周也と二人きりの  
 帰り道が、はてしなく  
 ① 感じられる。

昼休み、「どっちが好き。」と  
 いう話についていけず、  
 「どっちもかな。」と言うと、  
 周也がにらんだ。

周也の言葉が、みぞおちの辺  
 りにささり続け、ふり落とせ  
 ない。きよりが聞く。

⑤ が通り過ぎる。二人はあわてたが、笑い合った。

勇気を出して言った。「ほんと  
 に⑥、好きなんだ。」

二人は並んで再び歩く。

野球の② を休んで  
 律を待ちぶせし、いっしょに  
 帰りかけたが、気まずい。

母の小言が頭をかすめる。  
 ③ とは、相手の  
 言葉を受け止めてきちんと  
 投げ返すこと。あなたは一  
 人で球を放っているだけ。

ちんもくが④ で、  
 言葉を乱打してしまう。

心で賛成したが口が動かず、  
 だまつてうなずいた。

苦手 両方 会話 遠く 練習 天気雨

次の言葉の意味を書きましよう。

# 言葉の意味を確にんしよう

⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		★	
意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉
	爆発的		逆襲		おっとり		軽快		あおぐ		境地		みぞおち		テンポ
	例 インフルエンザの患者が爆発的に増える。		例 弱いと思っていた相手に手痛い逆襲を受ける。		例 祖母はおっとりとした性格だ。		例 軽快なリズムで自転車をこぐ。		例 あてが外れて、思わず天をあおぐ。		例 まよいのない境地に達する。		例 みぞおちの辺りが痛む。		例 一定のテンポで歩く。

○ 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

「どっちも好きってのは、どっちも好きじゃないのと、いっしょじゃないの。」

先のがったするどいものが、みぞおちの辺りにずきつとさきつた。そんな気がした。そのまま今もさきり続けて、歩いて、歩いても、ふり落とせない。

返事をしないぼくに白けたのか、周也しゅうやの口数もしだいに減って、大通りの歩道橋をわたるころには、二人してすっかりだまりこんでいた。<sup>①</sup>階段をのぼる周也と、ぼくとの間に、きよりが開く。広がる。ここ一年でぐんと高くなった頭の位置。たくましくなっ

た足どり。ぼくより半年早く生まれた周也は、これからもずっと、どんなこともテンポよく乗りこえて、ぐんぐん前へ進んでいくんだらう。

はあ。声にならないため息が、ぼくの口からこぼれて、足元のかげにとけていく。<sup>②</sup>どうして、ぼく、すぐに立ち止まっちゃうんだらう。思っていることが、なんて言えないんだらう。ぼくは海<sup>15</sup>のこんなところが好きだ。山のこんなところも好きだ。その「こんな」をうまく言葉にできたなら、周也とちゃんとかたを並べて、歩いていけるのかな。「どっちも好き」と「どっちも好きじゃない」がいっしょなら、「言えなかったこと」と「なかったこと」もいっしょになっちゃうのかな。考えるほどに、みぞおちの辺りが重く<sup>20</sup>なる。

市立公園内の遊歩道にさしかかったころには、ぼくは周也に三歩以上もおくれをとっていた。もうだめだ。追いつけない。<sup>④</sup>あき

まじやうていめい

この文章から「みぞおち」という言葉をさがし、すべて□で囲みましょう。

登場人物の心情をつかむ

体の感覚を通して、登場人物の心情が表現されている。

注目！  
場面ごとの心情をおさえて比べていくと、心情の変化もつかむことができる。

□(1) 線①「階段をのぼる周也」の気持ちをも、「ぼく」はどう想像していますか。次の□にあてはまる言葉を文章の中から十二字で書きぬいて答えましょう。

□(2) 線②「どうして、ぼく、すぐに立ち止まっちゃうんだらう」とありますが、すぐに立ち止まる「ぼく」とは反対の周也の様子を表す言葉を、文章中から十一字で書きぬいて答えましょう。

□(1) 線①「階段をのぼる周也」の気持ちをも、「ぼく」はどう想像していますか。次の□にあてはまる言葉を文章の中から十二字で書きぬいて答えましょう。

□(2) 線②「どうして、ぼく、すぐに立ち止まっちゃうんだらう」とありますが、すぐに立ち止まる「ぼく」とは反対の周也の様子を表す言葉を、文章中から十一字で書きぬいて答えましょう。



次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

① ふいに母親の小言が頭をかすめたのは、下校中の人かけがあつちへこつちへ枝分かれして、道がすいてきたころだった。

「周也<sup>しゅうや</sup>。あなた、おしゃべりなくせして、どうして会話のキャッチボールができないの。会話っていうのは、相手の言葉を受け止めて、それをきちんと投げ返すことよ。あなたは一人でぼんぼん球を放っているだけで、それじゃ、ピンポンの壁打ち<sup>かべうち</sup>といっしょ。」

ピンポン。なんだそりゃ、とそのときは思ったけど、今、こうして壁みたいだまりこくっている律<sup>りつ</sup>を相手にしていると、その意味が分かるような気がしてくる。たしかに、ぼくの言葉は軽すぎる。ぼんぼん、むだに打ちすぎる。もつとじっくりねらいを定めて、いい球を投げられたなら、律だって何か返してくれるんじゃないか。

でも、いい球って、どんなのだろう。考えたとたんに、舌が止まった。何も言えない。言葉が出ない。どうしよう。あわてるほどにぼくの口は動かなくなつて、逆に、足は律<sup>りつ</sup>からにげるようにスピードを増していく。

無言のまま歩道橋をわたった先には、しかも、市立公園が待ち受けていた。道の両側から木々のこずえがたれこめた通り道。人声も、車の音も、工事の騒音<sup>さわごん</sup>も聞こえない緑のトンネル。ぼくはこの静けさが大の苦手だった。

正確にいうと、だれかといるとききのちんもくが苦手だ。たちまち、そわそわと落ち着きをなくす。何か言わなきゃってあせる。野球チームに入る前、律とよくいっしょに帰っていたころも、ぼ

20

## まぜやってみよう

この文章から「律」という言葉をさがし、すべて□で囲みましょう。

## 人物像をつかむ

その人物を表す言葉が出てくるところすべてに着目する。

← 文章中の表現から、外見や性格、考え方をとらえる。

## 注目!

← どのような人物としてえがかれているかを総合的につかむ。

□(1) 線①「母親の小言」の中から、「周也」の性格を表した言葉を五字で書きぬいて答えましょう。


15

□(2) 線②「足は律からにげるようにスピードを増していく」とありますが、周也が足を速めたのはなぜですか。次から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 律が言ってほしい言葉を考えることに夢中になったから。  
 イ いくら話しかけても律が返事をしないので、白けたから。  
 ウ 律が返してくれるようないい言葉が出ず、あわてたから。  
 エ きげんを直そうとしない律が腹だたくなってきたから。



漢字を書こう

新しい漢字 次の読みがなを漢字で書きましょう。

①  してん

を変えて見る

②  あな

をいさぐ

③  すな

海岸の

④  はら

を立てる

⑤  かいだん

駅の

⑥  なら

いすを  べる

⑦  ふ

雪が  る

⑧  みと

実力を  める

⑨  あら

野菜を  う

⑩  いぶつ

を取り除く

⑪  たんじゆん

な構造

⑫  はんしゃ

光が  する

⑬  せなか

を向ける

⑭  した

がよく回る

⑮  らん

たいこを  する

言葉を使いこなそう

漢字二字の言葉になるように、次の□にあてはまる漢字を、下から一つずつ選んで書きましょう。

①  自然

②  登下

③ 放  後

④  一  車

次の□に共通してあてはまる漢字を、下から一つずつ選んで書きましょう。

①  最  夏   ②  言  数   ③  会  題

初 無 話

③ 次の□にあてはまる言葉を、あとから一つずつ選んで書きましょう。(同じ言葉は二度使えません。)

① 思ってもいない質問をされて、

の返答になった。

② 耳元でブーンと虫の羽音がしたので、

に、手ではらいのけた。

③ 姉がひくピアノに

聞き入った。

とっさ  しどろもどろ  しばし

# 文を書いてみよう

信じがたいものを見たのは、そのときだった。

(ワークリページ〜2行目)

言葉のあとに付けて意味や様子をおぎなう言葉があります。次の線の意味を下から一つずつ選び、記号で答えましょう。

- ① くがたい 例 信じがたい
- ② くまくる 例 暴れまくる
- ③ くげ 例 まぶしげ

ア くし始める  
 イ くらい様子だ  
 ウ くするのが難しい  
 エ く失敗する  
 オ さかんにくする

2 次の [ ] に合う言葉を、1の①〜③から選んで書きましょう。

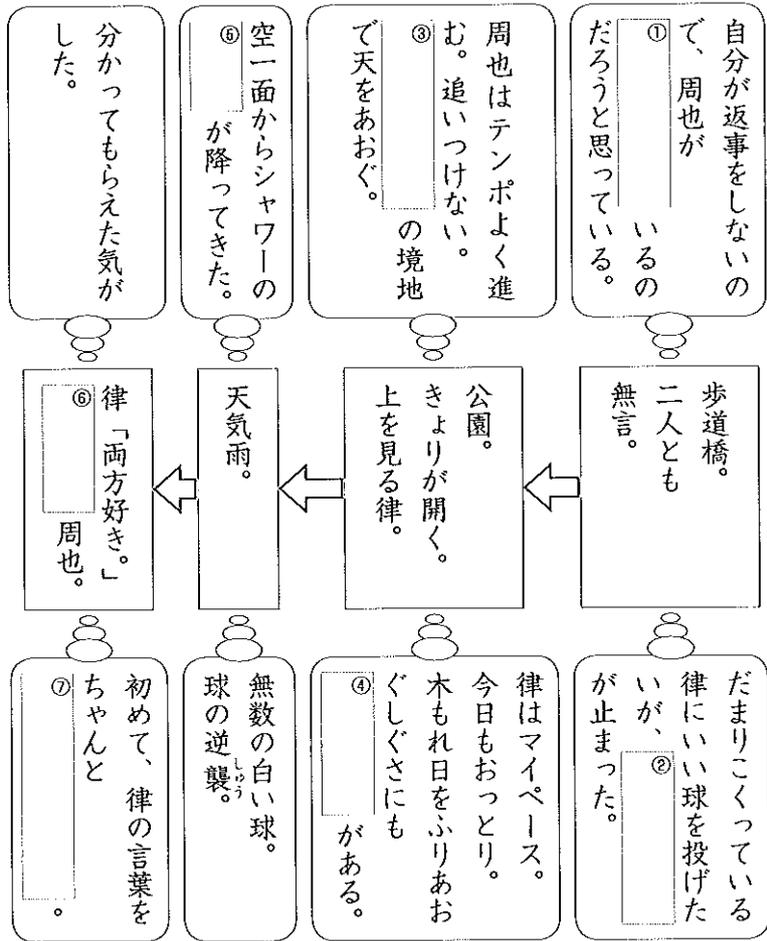
- (1) 知っている歌を二人で歌い [ ]
- (2) 受け入れ [ ] 要求なので断る。
- (3) 弟は、母にほめられてうれし [ ] な顔をした。

3 例にならって、1の①〜③の表現のどれかを使って短文を書いてみましょう。

例 ぼくは、日曜日になると、思う存分本を読みまくる。

# ぐるぐる

★ 「帰り道」の「律」と「周也」の様子や心情を、場面ごとに、次のようにまとめました。①〜⑦にあてはまる言葉を、あとから選んで書きましょう。



受け止められた よゆう うなづく  
 白けて あきらめ 舌 水

同じ場面の中で、人物が思っていることとがちがいに注目する。  
 ↓もの見方のちがいや、人物像のちがいがとらえやすくなる。

6

地域の施設を活用しよう／漢字の形と音・意味

漢字をおぼえよう

新しい漢字——漢字の練習をしましょう。

脳	裁	層	就	蒸	我	展	域
脳 脳 脳 脳	裁 裁 裁 裁	層 層 層 層	就 就 就 就	蒸 蒸 蒸 蒸	我 我 我 我	展 展 展 展	域 域 域 域
脳	裁	層	就	蒸	我	展	域
⑪肉	⑫衣	⑭戸	⑫尤	⑬+	⑦戈	⑩戸	⑪土
臟	律	恩	干	処	承	訪	蔵
臟 臟 臟 臟	律 律 律 律	恩 恩 恩 恩	干 干 干 干	処 処 処 処	承 承 承 承	訪 訪 訪 訪	蔵 蔵 蔵 蔵
臟	律	恩	干	処	承	訪	蔵
⑬肉	⑭イ	⑩心	③干	⑤几	⑧手	⑪言	⑬+

腸	肺	胃
腸 腸 腸 腸	肺 肺 肺 肺	胃 胃 胃 胃
腸	肺	胃
⑬肉	④肉	④肉

読み方が新しい漢字——読みがなを書きましょう。

① 細 ↓ ② 細 ↓ ③ 細

細 ↓ 細 ↓ 細

練習しよう

次の線の漢字の読みがなを書きましょう。

- ① 地域の施設
- ② 資料が所蔵される
- ③ 展示パネル
- ④ 科学館を訪問する
- ⑤ 我々の要求
- ⑥ 文化を伝承する
- ⑦ 蒸気機関車
- ⑧ 物事に対処する

学習日

月 日

□⑨ 銀行に就職した □⑩ 洗濯物を干す

□⑪ 地層の年代 □⑫ 恩人を招待する

□⑬ 裁判官が判断する □⑭ 法律にもとづく

□⑮ 脳のはたらき □⑯ 心臓の手術を受ける

□⑰ 肺で呼吸する □⑱ 胃に食物が入る

□⑲ 人間の腸

② 次の□に、①のように、同じ部分をもち、音も共通する漢字を

それぞれ書きましょう。

例 キュウ 要 求・野 球・救 急車

□① ソク  
 ③ 身体 □② 箱の □① 交通規  
 定 面 □② セイ  
 □③ 冷 □① 今日  
 □③ 潔な衣服 □② な判断 □① 天だ

⑤ 次の漢字の部首の意味をあとから一つずつ選び、「」に記号  
 て答えましょう。また、この部首をもつ漢字を□に書きましょう。

□① ャ(うかんむり) □① やど 屋 □② 教 □② しつ

□② オ(てへん) □① ゆび 輪 □② も っ

□③ ヨ(りっしんべん) □① 感 □② じょう っ □② こころよ い

□④ シ(さんずい) □① こ 水 □② 太平 □② よう

□⑤ 言(ごんべん) □① 日本 □② こ 題 □② わ

ア 「家」「屋内」などに関係がある意味  
 イ 言葉などに関係がある意味  
 ウ 手のはたらきなどに関係がある意味  
 エ 水などに関係がある意味  
 オ 「心」「精神」などに関係がある意味

7

春のいぶき

聞いて、考えを深めよう

漢字をおぼえよう

新しい漢字——漢字の練習をしましょう。

映	映映映映	映	⑨日	幕	幕幕幕幕	幕	⑬巾
映映映映	映		⑩映像	幕幕幕幕	幕幕幕幕		
補	補補補補	補	⑫衣	裏	裏裏裏裏	裏	⑬衣
補補補補	補		⑪立候補	裏裏裏裏	裏裏裏裏		
浴	浴浴浴浴	浴	⑧水	裏裏裏裏	裏裏裏裏		
浴浴浴浴			⑭浴線				

練習しよう

次の線の漢字の読みがなを書きましょう。

- ① 外国の映画
- ② 字幕で見る
- ③ 自分の考えを補強する
- ④ 意見の裏づけ

- ⑤ 目的や話題に沿う意見

2 次の俳句を読んで、あとの問いに答えましょう。

A 啓蟄の蛇はや花粉まみれかな 星野 立子

B 掘り返す塊 光る穀雨かな 西山 泊雲

□(1) 線①「啓蟄」、線②「穀雨」についての説明を次から

- ア それぞれ一つずつ選び、記号で答えましょう。
- イ 穀物をうるおし、芽を出させる春の雨。
- ウ 降る雪が雨に変わり、深く積もった雪も解け始めるころ。
- エ まだ寒さは厳しいが、こよみの上で春が始まる日。
- オ 冬眠していた虫がはい出るところ。まもなく春本番となる。

① ②

□(2) Aの俳句の「蛇はや花粉まみれかな」にはどんな心情がこめられていますか。次から一つ選び、記号で答えましょう。

ア やっと出てきた蛇のために花が咲いてほしいという願い。

イ 春本番を前に蛇がもう花粉まみれになっているという感動。

ウ 蛇が活発に動くくらい早く暖かくなってほしいという期待。

エ 出初めの蛇の姿が花粉まみれで美しくなかったことへの失望。

学習日 月 日



1 次の線の漢字の読みがなを書きましよう。1点×16

16

□① 他と異なる

□② 我先にと進む

□③ 水分が蒸発する

□④ 舌ざわりがよい

□⑤ すばやく処置する

□⑥ 社長に就任する

□⑦ 罪人を裁く

□⑧ 肺病をわずらう

□⑨ 川の流域

□⑩ 腸のはたらきを学ぶ

□⑪ 脳から指令が出る

□⑫ 並木道を歩く

□⑬ 行動を律する

□⑭ 年間の降水量

□⑮ 山の中腹に立つ

□⑯ 高層ビルが建つ

2 次の□にあてはまる漢字を書きましよう。

2点×16

32

□① 申し出を

しゅうち

する

□②

えいがかん

の入り口

□③ 命の

おんじん

命の

□④

あな

があく

□⑤

ないぞう

の病気

□⑥

たく

自宅を友人が

らいほう

する

□⑦

すっぱい

うめぼし

し

□⑧

じゆんぱく

のドレス

□⑨

思わぬ

てんかい

□⑩

うらぐち

から出る

□⑪

妹と

せい

比べする

□⑫

かいだん

を上る

□⑬

えん

海の岸

□⑭

みと

実力を

める

□⑮

こんらん

頭が

する

□⑯

まく

を閉じる

学習日

月

日

得点

100点

③ 次の線の漢字の読みがなを音読みはかたかなで、訓読みはひらがなで書きましよう。

1点×8  / 8

□(1) ① 弱点を補強する  
② 不足分を補う

□(2) ① ロケットの発射  
② 矢を射る

□(3) ① 洗顔する  
② 衣類を洗う

□(4) ① 砂鉄を集める  
② さらにさらの砂

④ 次の各文中の□にあてはまる漢字を、それぞれ上から選んで書きましよう。

2点×6  / 12

□(1) 資・史・視

① 近  用のめがね

② 歴  に名を残す

③ 栄養士の  格を取る

□(2) 胃・意・以

① 得  分野を生かす

② 半数  上が賛成だ

③  の辺りが痛む

⑤ 次の□にそれぞれ共通してあてはまる言葉を、あとから一つずつ選んで、( )に書きましよう。

4点×4  / 16

□(1) 勇気を  しぼる  
天を  あおぐ

□(2) はてし  道のり  
たより  声になる

□(3) ちんもくが  まずい  
 どった髪型

□(4)  の苦手  
 かんげい

大 気    ふり    ない

⑥ 次の( )にあてはまる言葉を、あとから一つずつ選んで書きましよう。

4点×4  / 16

□(1) 大声を

□(2) 注意を

□(3) 料理を

□(4) しめった土のにおいが

はらう    ただよう    はり上げる    ふるまう